



学校名 伊仙町立伊仙中学校

項 目	活動内容等
1 活動内容等	<p>徳之島が世界自然遺産に登録され、これまで伊仙中学校は、環境学習に取り組んできた。主に、総合的な学習の時間で、構想・解釈・批判・参画・発信など生徒に身に付けさせたい力を明確にした緻密な指導計画のもと、生徒主体の学習活動を展開している。また、地域のクリーン作戦に参画する等の体験活動も充実させている。環境への関心はもとより、ふるさと徳之島の未来について深く考えさせる取組である。奄美世界自然遺産登録1周年記念シンポジウム（鹿児島県主催）での発表は、これまでの学習における気付きや学び、考えたことを余すところなく発信し、フロアの方々の心に届くものであった。</p>
2 活動状況等	<p>ア 動機</p>
(1) 活動の動機・頻度	<p>奄美群島の奄美大島と徳之島は、国際的にも希少な固有種が多数生息し、生物多様性保全上重要な地域であることが認められ、2021年に「世界自然遺産」に登録された。特に、徳之島は、暮らしのすぐそばに生物多様性があり、人と生き物が共に暮らす島とも言われている。</p>
① 活動を始めた動機及び開始年月	<p>近年、人間活動が生態系に与える影響が大きく問題視される中で、有限な自然環境の中で環境負荷を最小限にとどめ、生態系を維持できるように環境保全に主体的に取り組むことや、持続可能な社会を構築し郷土の自然を守っていく人材の育成が求められている。</p>
	<p>地域性から、環境教育の重要性を強く感じ、また、生徒たち自身も郷土の環境について高い関心をもっている。そのことから、総合的な学習の時間において、郷土学習の一環として、特に環境問題に取り組むこととした。</p>
	<p>イ 開始年月</p>
	<p>令和4年（2022年）9月</p>
② 活動の愛称名があれば記入して下さい	<p>環境学習 ～徳之島の自然を守るために～</p>
③	
④ 月間又は年間活動回数	<p>9～2月の間に全12時間(授業コマ数)+ボランティア活動</p>

項 目	活動内容等
⑤ 活動のエリア	○ 徳之島島内 <ul style="list-style-type: none"> ・ 剥岳林道(世界自然遺産の森) ・ 徳之島トンネル周辺 (世界自然遺産の森周辺) ・ 伊仙町の海岸 (瀬田海海浜公園) ・ 伊仙中学校内
⑥ 活動1回当たりの平均参加者数	約 30 人(生徒 27 人, 教師 2 人, 講師 1~8 人)
⑦ 活動1回当たりの平均時間	約 2 時間
⑧ 収集物の処理	<p>収集したゴミは、生徒全員で分類・分析した。森で収集したゴミと海岸で収集したゴミを比較することにより、森と海のゴミ問題の繋がりを考察した。収集物の最終的な処理は、町役場に依頼した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
(2) 活動の独創性 活動の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒主体で活動テーマを検討・決定「ゴミ問題」 ・ 地域の NPO 法人や関係機関との連携 ・ 生徒の自主的な活動(ボランティア活動への参加) ・ 島民への広報活動(環境新聞製作, 広報誌での情報発信) ・ 世界自然遺産シンポジウムでの成果発表
(3) 地域への貢献度 ① 地域の環境美化への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界自然遺産周辺の清掃活動 ・ 海岸の清掃活動 ・ 島民への情報発信・啓発
② 地域住民との協力活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の NPO 法人「徳之島虹の会」との協力 ・ 地域の関係機関「環境省 徳之島管理官事務所」との協力 ・ 地域住民とのクリーン作戦での協力
③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 島民向けに開催された「世界自然遺産シンポジウム」で取組の成果と生徒のメッセージをプレゼンテーションし、環境保護に関する啓発を行った結果、町内外の島民や関係者から多くの称賛を得ることができた。

項 目	活動内容等
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき	(4)① 本校の環境教育の以下の3つの重点目標と関連付けて、活動に取り組んだ。 ・ 人間と自然との関わりを知り、自然と協調できるように努める。 ・ 身近な環境に関心を持ち、環境保全に努める。 ・ 環境問題に関心を持ち、環境保全や改善について考える。
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	(4)② 清掃活動後、生徒が自主的に休日の地域のクリーン作戦への参加を企画し、実際に過半数の生徒が参加した。 また、世界自然遺産シンポジウムでの発表するにあたり、プレゼンテーションの資料の制作・発表の準備に加え、来場者に配布するための環境新聞も自主的に作成した。
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	(4)③ 特になし
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか	(5) 特になし
(6) 校内外活動のための時間の作り方	(6) ・ 総合的な学習の時間 ・ 特別な教科 道徳(関連するテーマ) ・ 生徒の自主的な活動(ボランティア)
3 その他特記事項	3 参考資料「環境教育の実際」を添付します。

参考資料「環境教育の実際」(全12時間 + ボランティア活動)

時数	教科	各活動のテーマと主な活動内容	(身に付けさせたい能力・態度) [環境を捉える視点]
1	道徳	<p>テーマ：人間と自然との関わりについて考える 題材：「夜は人間以外のものの時間」(東京書籍)</p> <p>●題材を通して人間と自然との関わりについて多面的・多角的に考え、自然に対する畏敬の心情を育てるとともに、身近な自然や生き物たちとのこれまでの関わりについて振り返る。</p> <p>●グループでの話し合いを通じて、人間が主役として空間を作り変えてきたことで、私たちが忘れてしまったものは何かを考える。</p> <p>●地元(徳之島)の自然や生き物たちと、これからどのように関わっていききたいのかを考える。</p>	<p>〈関心〉</p> <p>〈構想〉</p> <p>[自然や生命の尊重] [生活様式の見直し]</p>
2	総合的な学習	<p>テーマ：地元(徳之島)の自然や生き物に関する課題について考える【ワークショップ】 題材：「徳之島の自然を10年先、20年先、この先ずっと残していくために解決すべき課題は何か?」</p> <p>●ワークショップ「ワールドカフェ」により生徒間で積極的に対話を行い、視野を広げ、生徒同士で認識を深めながら解決すべき課題について迫っていく。</p> <p>●対話により導き出された課題を集約し、その中から校外学習の自然保護活動のテーマを決定する。</p>	<p>〈批判〉</p> <p>〈合意〉</p> <p>[生態系の保全] [生活様式の見直し]</p>
3	総合的な学習	<p>テーマ：徳之島の自然と世界自然遺産について知る【講話】</p> <p>関係機関：環境省 徳之島管理官事務所</p> <p>●環境省の取組やレンジャーの仕事内容について知る。</p> <p>●世界自然遺産について知る。</p> <p>●徳之島が世界自然遺産に認定された理由について知る(特に、「生物多様性」について)。</p> <p>●徳之島に生息・生育する希少種や固有種について知る(映像・剥製標本)。</p> <p>●徳之島の自然や生き物たちを守るための課題について知る。</p>	<p>〈関心〉</p> <p>[自然や生命の尊重] [生態系の保全]</p>



図1 3~4人のグループで人間と自然との関わりについて意見を交わし、発表ボードにまとめている様子。



図2 ワークショップ「ワールドカフェ」で対話し、意見を書き込みながら題材について深めている様子。



図3 環境省徳之島管理官事務所の自然保護官(レンジャー)による講話の様子。

<p>4 ～ 8</p> <p>総合的な学習</p>	<p>テーマ：世界自然遺産の森を散策し自然保護活動を体験する【校外学習・フィールドワーク】</p> <p>関係機関：NPO法人 徳之島虹の会（エコツアーガイド）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●4グループに分かれ、エコツアーガイドの解説を受けながら世界自然遺産の森「剝岳林道」を散策する。 ●8グループに分かれ、世界自然遺産の森周辺における自然保護活動体験（清掃活動）を行う。 ●収集したゴミを分別し、量や種類、捨てられていた状況などを分析する。 	 <p>図4 エコツアーガイド（徳之島虹の会）の解説を受けながら世界自然遺産の森を散策している様子。</p>  <p>図5 剝岳林道入り口付近のゲートにて</p>  <p>図6 自然保護活動の様子</p>  <p>図7 収集したゴミを学校に持ち帰り、ゴミの分別をしている様子</p>  <p>図8 分別した後、量や種類を分析し、どのような場所にどのような人が捨てたのかを考察している様子</p>	<p>〈感受〉 〈関心〉 〈解釈〉</p> <p>[自然や生命の尊重] [生態系の保全] [資源の循環]</p>
<p>9 ～ 10</p> <p>総合的な学習</p>	<p>テーマ：校外学習で学んだことや考えたことをまとめる【まとめ学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●タブレット（ロイロノート）を活用して個人レポート（カード）を作成する。 ●個人レポートや活動紹介を文化祭で展示発表し、共有・発信する。 	 <p>図9 個人レポートをポスターにし、文化祭で展示発表している様子</p>  <p>図10 環境教育の内容もポスターで掲示し、紹介している</p>	<p>〈解釈〉 〈公正〉 〈発信〉</p> <p>[生態系の保全]</p>
<p>11</p> <p>総合的な学習</p>	<p>テーマ：世界自然遺産【講話】</p> <p>関係機関：NPO法人 徳之島虹の会、九州大学 荒谷邦雄 教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ●世界自然遺産を次世代につなぐ講演会「琉球・奄美の昆虫（特にクワガタムシの仲間について）」を聞く。 ●徳之島をはじめとする奄美群島の豊かな生物相。 ●奄美群島のクワガタムシの祖先はいつ、どこからやって来たのか。 ●奄美群島のクワガタムシの興味深い生態や危機的状況。 		<p>〈関心〉</p> <p>[自然や生命の尊重] [資源の有限性]</p>

12	道徳	<p>テーマ：自ら進んで自然環境の保全に努めようとする態度を育てる</p> <p>題材：冬の使者「マガン」（東京書籍）</p> <p>関係機関：NPO法人 徳之島虹の会</p> <p>●題材の内容と、校外学習で自分たちが経験したことや感じたことを照らし合わせ、自然と人間との関わりについて考え、地元（徳之島）の自然環境とこれからのように関わっていくのか、また、どのような保全活動に参加することができるかを考える。</p> <p>●学級全員で「中学生からのメッセージ」を考え、島民に向けて発信する。徳之島虹の会の協力を得て、徳之島島内で無料配布されている広報紙「週刊 徳之島ガイド」を活用して情報発信する。</p>	 <p>図 11 広報紙に掲載された記事。編集は徳之島虹の会。</p>	<p>〈参画〉</p> <p>〈発信〉</p> <p>[自然や生命の尊重] [生活様式の見直し]</p>
時間外の活動	ボランティア活動	<p>テーマ：「クリーン作戦」に参加し、森と海のゴミを比較する【フィールドワーク】</p> <p>関係機関：NPO法人 徳之島虹の会</p> <p>●伊仙町で毎月第3日曜日に実施されている「クリーン作戦」に生徒が自主的に参加し、海岸の清掃活動を行う。</p> <p>●収集したゴミの分別と分析を実施し、校外学習で収集した森のゴミと比較する。</p>	 <p>図 12 海岸で収集したゴミを分別し、量や種類を分析している様子</p> <p>図 13 海岸清掃の様子</p>	<p>〈関心〉</p> <p>〈解釈〉</p> <p>〈参画〉</p> <p>[資源の循環] [生態系の保全]</p>
時間外の活動	ボランティア活動	<p>テーマ：環境新聞を製作し、環境学習で学んだことや自然保護に関するメッセージを伝える【情報発信】</p> <p>関係機関：NPO法人 徳之島虹の会</p> <p>●新聞製作委員を組織し、A3サイズの環境新聞を手作りで製作する。</p> <p>●事前準備や製作作業は学校で行い、徳之島虹の会の協力を得て新聞の内容や校正のアドバイスを受ける。</p> <p>●世界自然遺産シンポジウムの折込資料等として配布し、情報発信する。</p>		<p>〈参画〉</p> <p>〈発信〉</p> <p>[生態系の保全] [生活様式の見直し]</p>
時間外の活動	ボランティア活動	<p>テーマ：奄美世界自然遺産登録1周年記念シンポジウム（鹿児島県主催、伊仙町開催）において環境学習で学んだことなどを発表する【情報発信】</p> <p>関係機関：NPO法人 徳之島虹の会、伊仙町きゅらまち観光課</p> <p>●シンポジウム発表委員を組織し、一連の環境教育での取組や学んだことなどをタブレットでスライド資料（Power Point）にまとめ、10分間のプレゼンテーションを行う。</p>	 <p>図 14 シンポジウムでの発表の様子</p>	<p>〈参画〉</p> <p>〈発信〉</p> <p>[生態系の保全] [共生社会の実現]</p>